

第1回稲沢市地域福祉計画策定委員会 会議録

日時：令和元年10月8日（火）午後1時30分

場所：稲沢市役所第2会議室

- 1 委嘱状交付
- 2 あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 委員長・副委員長の選任
- 5 協議事項
 - (1) 第4次稲沢市地域福祉計画について
 - (2) アンケート集計結果（中間報告）について
- 6 その他

協議事項

(1) 第4次稲沢市地域福祉計画について

- ・事務局：資料説明（プロセス・スケジュール）
- ・目標指標の評価結果を踏まえて、どう行動するのか。評価結果をいかさないと意味がないので、検討してほしい。
- ・事務局：今回のアンケート調査結果は中間報告ではあるが、最終報告も概ねこのような数字となる見込みである。成果があがらなかった理由としては、前回の計画の事業が各課の関連事業を羅列する形での計画になっていたからだと考えている。今回の計画は、共助のための取組を強化して取り組んでいきたいと考えている。
- ・私は、ボランティア関係を行っており、第3次計画の委員でもあった。ボランティア活動に関しては、参加してみたいとはいうものの、多くの方は参加してくれないのが現状。そうした現状をどうしたらいいかということを考えていきたいと思っている。趣味の延長でもボランティアになるというような形で進めていくことを考えると良いのではないかと思う。
- ・下津には、子育て世代が多く住んでいる。お母さんたちは、自分たちの仲間でのサークルやグループにはたくさん参加している。そういう人たちは組織化されることや役割を嫌う傾向にある。ハードルを下げ、そういう人たちの力を活かしていただくことも考えたらいいのではないかと思う。

(2) アンケート集計結果（中間報告）について

- ・事務局：資料説明（アンケート結果）
- ・成年後見制度を知らないことについて、社会福祉協議会としてどう思っているか。
- ・事務局：社協はセミナーを開催しているが、この結果を見ると周知が進んでいないと感じる。
- ・社協と市の違いは何なのか。
- ・事務局：相談は主に社協というように役割分担をしているが、どちらに相談されても大丈夫である。

- ・ P20 の福祉実践教室をやっている。こころの問題をあつかっているが、今、学校では、時間の余裕がないといわれることが多く、とても取組みにくい。福祉教育を通じて優しい心を育てることができると思うので、福祉教育の充実に注力してほしい。
- ・ P16 のボランティアについて、有償ボランティアが増えてきたが、基本的に無償は長続きしないと思う。受益者負担の原則で有償を推奨していく必要があるのではないかと思う。
- ・ 前回調査との比較のコメントがあったが、一般的な変化なのか、稲沢の特徴なのか。
- ・ 事務局：詳しく検証していないが、概ね一般的な特徴の範囲だと思う。ただ、地域の役員の担い手が無いという結果などは特徴的だと思う。
- ・ 事務局：P7 の問 10 については、実際には個人情報を出すことを拒む人が多いので、この結果とは異なる現状があるように感じた。
- ・ 地域のどこにどういう人が住んでいるのかについての情報がないのに、サポートしろというのは無理があるのではないかと思う。
- ・ アンケート調査の対象者の抽出は、どのようになっているのか。
- ・ 事務局：無作為に抽出しているので、実際の人口に比例している。
- ・ アンケート調査の実施期間が 20 日間では少ないのではないか。出しそびれてしまった人が多いのではないか。
- ・ 事務局：期間は 20 日程度が適切だと思っている。ただ、9 月 5 日で完全に締め切ったわけではなく、その後の到着分も集計に含めている。
- ・ P7 の緊急時の取り組みの認知について、いろいろな災害がある中で 1 つも知らないという状況について、どうしたら知っていただけるのかと思う。インパクトのある言葉を使って PR する必要があるのではないか。このアンケート調査の中でこの結果がいちばん虚しい結果だと感じている。
- ・ 近所というので、ぼやっと「地域」を捉えているが、グループホームやサービス付き高齢者住宅などがある地域では、どういう方がどこにどの程度いるのかを知っておく必要があると思う。

6 その他

- ・ 次回は、12 月 13 日、13:30 から予定している。
- ・ ワークショップを、11 月 7 日、11 月 15 日、11 月 20 日に予定している。